学 校 経 営 構 想 図　　世羅町立せらにし小学校

校訓

こころひろく

ゆめおおきく

教育目標

ふるさとに愛着と誇りをもち，ゆめの実現に向けて学び続ける子どもの育成

教育理念

発信（小中連携教育の実践内容）と交流（ふるさと体験学習・地域貢献活動）をもとに，信頼される学校をつくる。

めざす学校像

『信頼と笑顔と感謝のあふれる学校』

つながりあう学校

めざす子供像

やさしい子

考える子

がんばる子

教職員像

『立場を自覚し，子供と共に伸びる教職員』

・教育公務員としての自覚をもった教職員（服務規律）
・組織の一員として校務運営に参画する教職員（使命感）
・児童に確かな学力をつける教職員（授業力）

経営方針

子どもたちが夢を抱き，生き生きと活動する環境を整える。

①教師の指導力・授業力の向上を図り，確かな学力を身につけさせる。
②家庭・地域と連携し，様々な体験活動を通して豊かな人間性と感性を育む。
③自らを鍛え，自らを管理する力を育てる。
④発信・受信・交流をもとに，信頼される学校をつくる。

指導力・授業力の向上を図り，確かな学力をつけさせる。

- 小中共通授業スタイル・学びの7カ条を意識した授業を行う。
  授業の中で比較する場面を設定し，理由づけをして発表させる。
- 単元末テストにおける読む力・数学的な考え方の平均点を全国平均点より上回る。
- 発表するとき，理由づけ，結論先行，ナンバリングを使う児童を増やす。
- 個々のニーズに応じた支援の在り方について研修を深める。（特別支援教育研修の充実）

家庭地域と連携し，豊かな人間性と感性を育む。

- 社会に適応する人間関係づくりを進める。（挨拶・掃除・きまり遵守）
- 道徳授業の質の向上を図る。**（道徳の時間の充実）**
- 道徳の時間を工夫（役割演技・資料提示・導入・板書・書く活動等する。
- 人に温かく接する児童を育てる。
  （特別支援教育の充実）

自らを鍛え，自らを管理する力を育てる。

- **体力向上に取り組む。**
  毎月50m走・持久走の記録を取り，目標意識をもたせてジョギングや脚力強化運動に取り組ませ，記録向上を図る。
- **食育の充実を図る。**
  講師（栄養士）を招いた研修を年間6回以上行う。
- 各学年，学期に1回以上食育だよりを発行する。

発信・受信・交流をもとに，信頼される学校をつくる。

- 地域・保護者へ学校・学級情報の発信をし，信頼される学校をつくる。
- 地域の自然・文化・歴史・人材等を生かした「ふるさと学習」に取り組み，学んだことをもとに地域へ貢献しようとする児童を育てる。
- 方策進行管理を計画的に実施することで，システムの充実と改善を図る。

目標管理・自己評価 ⟺ 学校関係者評価

研究主題

小中で学びをつなぎ生きる力を育む
～比較思考することで，論理的に話す授業の創造～

基礎学力部

学習過程に比較吟味する場を設定し，意見の根拠を示す児童を育てれば，学力が向上するであろう。
（ことばの教育を活用した授業づくり）

道徳部

地域を素材とした道徳資料を開発し，ふるさと学習・奉仕活動と関連付けた道徳教育を行えば，ふるさとを大切に思い，ふるさとに貢献しようとする児童を育てることができるであろう。

特別支援教育部

児童の実態をつかみ個に応じた教育的な支援をすることで，児童の持てる力を高めることができるであろう。